

## 共同印刷、「モイストキャッチ<sup>®</sup>透明タイプ」を開発 7月開催「インターフェックス ジャパン」に初展示

共同印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:藤森康彰)は、湿気・アウトガス吸収フィルム「モイストキャッチ<sup>®</sup>」に高い透明性を付与した「モイストキャッチ<sup>®</sup>透明タイプ」を開発しました。7月3日から東京ビッグサイトで開催される「第21回インターフェックス ジャパン」へ参考出品します。

モイストキャッチ<sup>®</sup>は、樹脂と乾燥剤を一体化した高機能材料です。乾燥剤を使わずにパッケージ内部を低湿度環境に保つことができるため、医薬品・電子部品・精密機器など、さまざまな分野での湿気、アウトガス対策に貢献してきました。

このたび開発した「モイストキャッチ<sup>®</sup>透明タイプ」は、モイストキャッチの吸湿能力はそのままに、“高い透明性”を実現した製品です。機能材を高濃度に樹脂に含有させる当社独自の混練技術を用いてナノサイズの吸湿剤を高濃度に分散させることで、吸湿能力と透明性の両立を可能にしました。

今後、当社は、本品を医薬品や化粧品業界などへ展開すべく取り組むと共に、「モイストキャッチ<sup>®</sup>透明タイプ」を含めた高機能フィルムのラインアップ拡充と販売拡大に引き続き注力し、生活・産業資材系事業の発展に努めます。

なお、本品は、7月3日から5日まで東京ビッグサイトで開催される「第21回 インターフェックス ジャパン-[医薬品・化粧品・洗剤 研究・製造展]」へ参考出品します。独自技術で開発した高機能フィルムも各種展示しますので、ぜひ当社ブース(西展示棟 W1-001)へお越しください。

【フィルム透明度の比較】 モイストキャッチ<sup>®</sup> (左)とモイストキャッチ<sup>®</sup>透明タイプ (右)

